

京都府豊かな森を育てる府民税 事業評価シート

府民税 使途分野	I 森林の整備及び保全 II 森林資源の循環利用 III 森林の重要性の啓発
事業名	IV 地域振興計画推進事業
事業 概要	1 目的 地域の森林・林業の特色や課題に応じた広域振興局ならではの先導的な取組を推進する。 2 内容 (1) 山城広域振興局 ①モデルフォレスト運動参画促進事業 多様な主体による森林保全の取組を推進するため、森林ボランティアグループの交流会を開催した。 ②山城産の木魅力発信事業 山城産木材の利用促進のため、府民を対象に林業体験や木工体験ができる森林・林業体感ツアーや市町村職員等を対象に木材の利用を進める研修会を開催した。 山城地域で生産、製材・加工された木製品を宇治庁舎、山城南保健所等に整備した。 (2) 南丹広域振興局 ①広葉樹林整備・活用チャレンジ事業費 森林組合や地元製材所、木づかいネットワーク等と連携し、広葉樹林の資源量やサンプル木の伐採・搬出などを実施することで、広葉樹林の採算などを検討し、今後の広葉樹林整備・活用のあり方を検証した。 (2) (3) 南丹広域振興局、中丹広域振興局（共同で実施） ①「丹波くり」振興未来創造事業 里山林等の適正な管理を推進し、京のブランド産品「丹波くり」の生産を拡大するため、「丹波くり」栽培をリードする中核的生産者の育成を図る「丹波くりマイスター養成講座」の修了生を対象に、更なる技術力と指導力のレベルアップを図るため、先進地の視察やくり生産者への指導実習を実施した。 (3) 中丹広域振興局 ①循環型林業未来創造事業 子育て世代や子どもをターゲットとした木材をPRするイベント「もくフェス in 中丹2024」を開催し、木材利用の気運を高め、住宅、家具、玩具等への木材利用を通じて府内産木材の需要を拡大。さらに、主伐・再造林現場の工程調査を実施し、その結果や課題を現地検討会を通じて管内林業事業体と共有し、意見を交換した。 (4) 丹後広域振興局 ①丹後の森適正管理推進事業 地元住民や小学生等を対象に適正な森林管理に向けたセミナーや、木工体験及び樹木観察会等を開催するとともに、地元高校生を対象とした林業製材業研修会や、林業事業体を対象とした林業ICT体験会等を開催した。

3 事業実績（R6年度）

事業区分	事業費	主な内容
(1) 山城広域振興局	2,500 千円	・森林ボランティア交流会 1回 (6団体12名) ・森林・林業体感ツアーの開催 2回 (53名) ・山城産木材の利用を進める研修会 1回 (6市町9名)
(2) 南丹広域振興局	1,733 千円	・くり先進地の視察 2回（中丹と共同） ・広葉樹のサンプル材の伐採・搬出
(3) 中丹広域振興局	2,500 千円	・くり先進地の視察 2回（南丹と共同） ・もくフェス in 中丹の実施 1回 (約3000人) ・再造林に係る工程調査及び現地検討会の開催（1箇所、1回）
(4) 丹後広域振興局	2,500 千円	・森林管理を学ぶセミナーや丹後 WOOD FESTIVAL 等の開催 6回（約1221名） ・地元高校生への林業製材業等研修会や林業 ICT 体験会を実施 2回（69名）

(1) 山城広域振興局



森林・林業体感ツアー
(親子木工教室 和東町内)



森林・林業体感ツアー
(親子木工教室 和東町内)

(2) 南丹広域振興局



広葉樹のサンプル材の伐採・搬出状況

(3) 中丹広域振興局



主伐・再造林現地検討会

(4) 丹後広域振興局



森林の適正な管理セミナー

(2) (3) 南丹、中丹広域振興局



丹波くりマイスター養成講座修了生
技術向上研修



もくフェス in 中丹



丹後WOOD FESTIVAL

1 全体の評価

地域の森林・林業の特色や課題に応じた広域振興局ならではの先導的な取組を実施することができた。本取組により、地域資源の循環利用の重要性について府民の理解を深め、多様な主体の協働による川上から川下までの取組を推進することができたほか、地域のブランド産品である特用林産物の生産体制の構築に取り組むことができた。

2 各広域振興局の評価

(1) 山城広域振興局

①モデルフォレスト運動参画促進事業

参加者の声（ボランティア）

- ・他の森林ボランティア団体も数多く活動していることを知り、心強く思った。
- ・横のつながりも大切にして、活動を継続していこうと思った。
- 森林保全活動の継続・発展に向けグループ間の交流を進めることができた。

②山城産の木魅力発信事業

森林・林業体感ツアー

参加者の声

- ・森林は水を吸収して自然災害を防ぐということがわかった。（子供）
- ・京都府の木材を積極的に選んで使うことが環境を守る行動になると思った。（大人）
- 府民の森林の大切さや木材利用への関心を高めることができた。

山城産木材の利用を進める研修会

市町村職員の声

- ・他の市町の木材利用の取組や課題を知ることができ、今後の参考となった
- ・建築物を担当する部署として、今後府内産木材の利用を積極的に検討したい。
- 市町村職員の木材利用や森林整備の意義に関する知識の向上につなげることができた。

今後も取組を継続することにより、モデルフォレスト運動参画企業とも連携を図り、森林整備や地域産材利用の意義の周知・啓発を図る。

(2) 南丹広域振興局

①広葉樹林整備・活用チャレンジ事業

連携者の声

- ・利用が少ない広葉樹の活用に向けた新たな動きが生まれることを期待している。
- ・予想以上に病虫害の影響を受けた木が多く、被害木の利活用についての検討が必要。
- 広葉樹のサンプル材の伐採・搬出を実施し、材質等を確認することができた。
- 今回得られた知見を関係者と共有し、広葉樹の利活用について検討を継続していく。

(2) (3) 南丹広域振興局、中丹広域振興局（共同で実施）

①「丹波くり」振興未来創造事業

修了生の声

- ・他産地の生産者と意見交換でき、修了生同士のつながりも深まった。
- ・せん定の指導に関するポイントを学ぶことができたので、今後活かしていきたい。
- 12名の中核的生産者を対象に現地視察および指導実習を通じて技術力の向上を支援するとともに、修了生間のネットワークの強化を図ることができた。

今後も本事業を継続し、各地域に生産技術の要となる人材を育成していく。

(3) 中丹広域振興局

①循環型林業未来創造事業

木材 PR イベント

参加者の声

- ・木を使う体験を通して、楽しく木のことを知ることができた。

	・香りや温もりなど、木の良さを実際に感じられるよいイベントだった。 → <u>来場者に木材の良さを実感してもらうとともに、森林・林業の魅力についてPRすることができた。</u> 再造林に係る工程調査及び現地検討会の開催 現地検討会の参加者の声 ・同じ課題を感じている現場作業者との意見交換ができ、よい刺激になった。 ・再造林の大きな課題である獣害対策について、効果的な方法を学ぶことができた。 → <u>主伐・再造林に係る現場担当者間での技術の交流を図るとともに、林業事業体への積極的な検討を促すことができた。</u> <u>今後も森林・林業・木材産業・建築業に関わる地域での取組を継続して、森林・林業や木材利用への関心を高め、森林や木に携わる人材の育成に繋げる。</u> (4) 丹後広域振興局 ①丹後の森適正管理推進事業 地域住民に向けた森林の適正な維持管理セミナー 丹後WOOD FESTIVAL 等 参加者の声 ・森林の身近な話題から制度まで分かりやすい話が聞けた。もっと知識を高めたい(地元森林所有者)。 ・普段木に触れあう機会が少ないので、子どもと一緒に触れあえてよかった(親子) → <u>森林・林業や木材への関心を高めるとともに森林の保全活動を推進した。</u> 地元高校生や林業事業体に向けた研修会 参加者の声 ・実際に森林整備作業を見学できて林業に非常に興味を持った。働きたい。(高校生) ・今までは人肩運搬していた重たい荷物を、短時間でドローン運搬でき非常に楽であった(林業事業体)。 → <u>将来及び現在の担い手対策として、森林・林業について学ぶ機会の創出と林業ICTを活用した施業の低コスト化に向けた取組を推進することができた。</u> <u>今後も森林・林業・木材業・建築業に関わる地域での取組を支援するとともに、森林・林業や地域産木材の利用促進に向けた取組を継続し、森林や木に携わる人材の育成に繋げる。</u> 3 今後の事業の方向性 地域振興計画に掲げる地域の将来像を実現するため、引き続き、各地域が抱える森林・林業の課題やニーズを捉えた効果的な事業を継続していく。
有識者会議の意見	・地域ニーズに応じて実施されており、評価できる ・森林環境譲与税と重複がないよう本庁と公所で連携を図りながら、実施することが必要である